

## 普及活動情勢報告（令和8年4月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### イチゴ新品種の検討



土佐市いちご部会で栽培している品種「さちのか」は、炭疽病に弱く、防除に苦慮しています。また、近年の高温化は、育苗や花芽分化への悪影響が顕著となってきています。

そのため、農業改良普及課では、当部会とともに農研機構を訪問し、新品種に関する情報収集を行い、他県と共同で育成した新品種「堅しろう」について、当産地での適応性や栽培特性を検証することとなりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、いちごの生産安定と産地振興に向けて支援していきます。

### トゲ無しユズの成園化を目指して

～ ユズの幼木剪定講習会 ～



いの町の（農）上東では、令和6年に短棘系ユズ（通称：トゲ無しユズ）への改植を行い、ユズの協業経営を実施しており、今年3月に初めての剪定を行いました。

農業改良普及課は、基本樹形の作り方や間引き剪定、切り返し剪定の特徴と使い分けについて、実演を交えて指導しました。その後、6名の参加者一人ひとりが実際にハサミを手にとって作業を行いました。最初は戸惑いも見られましたが、積極的に質問を重ねることで理解を深め、終始和やかな雰囲気で作業が進みました。

農業改良普及課は、今後も生産者とともに歩みながら、ユズの振興を支援していきます。

### 令和8年度の活動計画等を検討しました。

～ （農）上東役員会の開催 ～



4月16日、（農）上東が旧上八川小学校講堂で役員会を開催し、農業改良普及課から2名が出席しました。

会では、5月に開催される総会に向けた活動計画等の打ち合わせが行われ、農業改良普及課からは、水稻の視察や、（農）上東の取組を継続していくために、専門家を招いてロードマップを作成すること等を提案しました。役員からは視察等を行うことの賛同が得られ、日程調整を進めていくこととなりました。

農業改良普及課は、今後も（農）上東の経営安定を支援していきます。